

## 青少年健全育成者研修会

ふれあわずに  
ふれあえる  
レクリエーション

青少年育成活動の指導者としての資質と指導技術の向上を図ることを目的として、研修会を開催しています。令和2年度は、9月に、対象を青少年指導員に限定し、コロナ禍でも行える、ふれあわずにふれあえるゲームを学びました。



感想より

- 子どもたちと一緒に楽しめる場でやってみたいと思える内容でよかったと思います。素直に楽しめたし、もっといろいろやってみたいと思いました。
- もっともっとチャレンジして子どもたちと楽しくゲームができるように手と頭の回転をよくし、元気を表に出していきます。
- アイスブレイクの重要性が分かりました。ルールにとらわれ過ぎず楽しく行うことが一番だと感じました。

## 愛川町ジュニアリーダーズクラブ



青少年指導員は、ジュニアリーダーの活動をサポートしています。愛川ジュニアリーダーズクラブは、小学校5年生から社会人まで約40人のメンバーで、イベント「わくわくホリデープランこの指とまれ」①野外炊事 ②親子カヌー教室 ③「あいかわこどものまち」の企画運営をしています。そのほか、地域や町主催行事に協力し、様々な場面で活躍しています。



愛川町青少年指導員連絡協議会 機関紙

## あいかわ青少年指導員だより

第10号 令和3年3月  
発行 愛川町青少年指導員連絡協議会  
会長 吉田 寿  
編集 青少年指導員 広報担当  
連絡先 愛川町教育委員会生涯学習課  
愛川町角田 251 番地 1  
電話 046-285-6959



### ごあいさつ 愛川町青少年指導員連絡協議会 会長 吉田 寿

日頃より、青少年指導員の活動に対し、多大なるご理解とご協力をいただきまして、この紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。私は、青少年指導員7年目となり、本年度より会長を務めさせていただいております、吉田と申します。皆様のおかげをもちまして、「青少年指導員だより」も今回で第10号の発行を迎えることができました。

青少年を取り巻く環境は大きく変化したと感じています。かつて、青少年は、家庭や地域で異年齢の子どもや大人とふれあい、様々な活動を通して、発達段階に応じて必要な資質を身につけながら成長していきました。しかし、近年、核家族化や少子化といった家庭環境の変化に加え、インターネットの普及による社会環境の変化に伴い、人間関係の希薄化などの課題が指摘されております。また、昨年からは、新型コロナウイルスの影響で、様々な人とふれあう活動が難しい状況となっておりますが、地域で青少年を育てることが求められる中、適切な感染予防を講じながら活動しています。私たち青少年指導員は、こうした現状を踏まえ、学校・家庭・地域のパイプ役として、これまで以上に、それぞれとの連携を密にして、オール愛川体制で、青少年を育成する地域社会を目指していきたいと考えております。

最後に、これからも関係各位の皆様におかれましては、これまで以上のご理解とご協力を心からお願いいたします。

### 青少年指導員の主な活動

- 4月 田代半僧坊(春の大祭)夜間パトロール
- 6月 青少年健全育成者研修会(愛川ふれあいの村)
- 7月 ジュニアリーダー・インリーダー研修会  
わくわくホリデープラン(野外炊事)
- 8月 わくわくホリデープラン(親子カヌー教室)
- 10月 ふるさとまつり
- 11月 ふれあいレクリエーション(町内小学校)  
\*愛子連事業に参加協力  
紅葉まつり(愛川ふれあいの村)  
県青少年指導員大会  
わくわくホリデープラン(あいかわこどものまち)
- 1月 町駅伝観覧走路員、成人式会場警備・誘導
- 2月 「こども110番の家」見直し作業

### 青少年指導員の活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成及び支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談及び対応
- 5 青少年に関する調査及び情報提供

『仲間をつくろう』  
『みんなで話し合おう』  
『行動しよう』  
『みんなで楽しもう』  
『絆を強めよう』

# 青少年指導員から 青少年に向けての熱いメッセージ

## 川北区 加藤 政芳

現在、コロナの影響で、学校、スポーツ等にいろいろと不便を強いられていると思います。この状況の中で、みんなの若い力、発想で何かをつかみ、感じ、行動にうつし、頑張ってもらいたいと思います。

## 宮本区 中戸川 公昭

新型コロナウイルスの感染問題によりいろいろな活動や行事が中止になりました。このようにときだからこそ、みんなの前向きな気持ち、行動が求められます。協力してがんばりましょう。

## 原白区 木藤 京子

コロナ禍の中、子どもたちの声が聞こえない、姿を見かけないことを淋しく思いました。この状況でもできることがあると、冬のひまわりの種をたくさん蒔きました。これからも子どもたちに喜んでもらえる活動をしていきたいです。

## 両向区 山口 智也

これからの愛川を担う君たちへ  
君にしかできないことを  
考え行動できる若者になってください。

## 細野区 前田 政一

コロナウイルスが広がっている中で新しい生活様式が求められる活動が制限されましたが、変わらないのは、自分の周りには大人・友人・家族がいることです。助け合い、励まし合って未来へ歩んでいきましょう。

## 田代区 佐久間 順子

青少年の皆さん、新型コロナで自粛を求められ、たくさんの制約があり戸惑ったことでしょう。日常の中で、どうしたらよいのか、何ができるのか、皆さんの柔らかい頭と豊かな発想で編み出していきましょう。

## 角田区 高橋 誠

皆さんは決して、自分一人で生活しているわけではないよね。家族、友達、先生。さらには、見えないところで、皆さんを支えてくれている大勢の人がいることを、そして、その方々に「ありがとう」の気持ちを忘れずにね。

## 三増区 西坂 雄一郎

イベントや部活の大会が中止になるなど辛い日々が続いていますが、愛する家族や仲間たちのために今何ができるか、何を我慢しなければならぬのかを共に考えましょう。明るい未来は必ず来ます！

## 箕輪区 小川 浩幸

未だ収束が見えてこないコロナ禍の中で、外での活動や人と会う制約等、色々不自由な生活を送っていると思いますが、地域の青少年指導員は皆さんが笑顔で生活できるように引き続き応援します。

## 小沢区 熊澤 一友

今年度より青少年指導員として携わることになりました。小学校のPTA活動、育成会活動を通じて青少年とふれあいを求めていきたいと思っています。コロナに負けるな！青少年。

## 上熊坂区 妹尾 英行

上熊坂地区では、子ども会、自治会や育成会と協力し、夏祭り、クリスマス会やスポーツ活動などのわくわくするような行事を通し、絆を強めています。皆さんも一緒に参加して活動していきましょう。

## 六倉区 吉田 寿

六倉区では、自治会・育成会の協力で、できる限りの行事を小・中・高校生たちにも参加してもらい、地域の交流を深められるように楽しく活動しています。

## 大塚区 元村 真一

いろいろなことに挑戦する心を持ち、遊びを通してたくさんのかたちを経験して成長しよう！

## 春日台区 柳川 恵司

今しかできないこと。今しかできない苦労があります。楽しいこと、つまらないと思うことに全力で取り組む姿勢が自分の財産になる！

## 熊坂区 西村 みのり

愛川町には、子どもたちのために、楽しく一生懸命活動する大人がたくさんいます。青少年の皆さん、近くの素敵な大人と出会ってくださーいね。

## 熊坂区 熊坂 大輔

本年度から青少年指導員になりました。青少年の皆さん、自分の感情や思ったことを素直に表現してみてください。恥ずかしがらないこと。

## 二井坂区 茅 孝之

今回で2期目となり、2年間ジュニアと共に活動してきました。ジュニアたちの素晴らしい活躍に感動しっぱなしでした。たくさんの経験をエネルギーに変えて、皆さんの仲間と楽しく活動してください。これからも応援します。

## 桜台区 野副 竜彦

コロナで新しい生活や行動が求められ、ストレスが溜まっていると思います。こういうときこそ、自分を見つめ直すチャンス。他人ばかり見ずに自分を持って、明るく楽しく前を向いて行こう。

## 半縄区 石井 剛

コロナ禍で、いろいろな活動に制限があり、大変な時代であるが、このようなときにしかできないことを見つけて、目標を持って前に進んでください。

## 坂本区 大野 政男

青少年の皆さん、これからいろいろなこと、新しい経験を増やしていくことでしょう。その体験を種に、いろいろな景色を見てください。

## 桜台団地区 元村 格

朝、起きたら、大きな声で家族にあいさつをしよう。元気よく外に出て、友達と仲よく遊び、仲よく学ぶ。元気が一番。

## 下谷八菅山区 山田 禎

皆さんにはやりたいこと、やってみたいことがあると思いますか。得るものがあること、すぐにできることは後回しせずやってみましょう！大人になるとやっておけばよかった…ことがたくさんになります。

## 長年の功労を讃えて～各表彰受賞者の紹介～

青少年指導員12年以上勤続の森敏彦さん（前会長）、大野政男さん、木藤京子さんが、自治功労者として町より表彰されました。

また、神奈川県青少年指導員表彰として、石田浩章さん（前春日台区青少年指導員）に、県青少年指導員連絡協議会より感謝状が贈られました。



## 編集後記～ハートのディスタンス～

「青少年を地域で育てよう！」という熱い思いを持った愛川町青少年指導員22名。任期1年目は、その熱意を思う存分発揮しきれない状況にありましたが、だからこそ、人と人のつながりの大切さを感じています。さあ、任期2年目。「ソーシャルディスタンス」はとりつつも、青少年との「ハートのディスタンス」は今までと変えずに行こう！（担当）